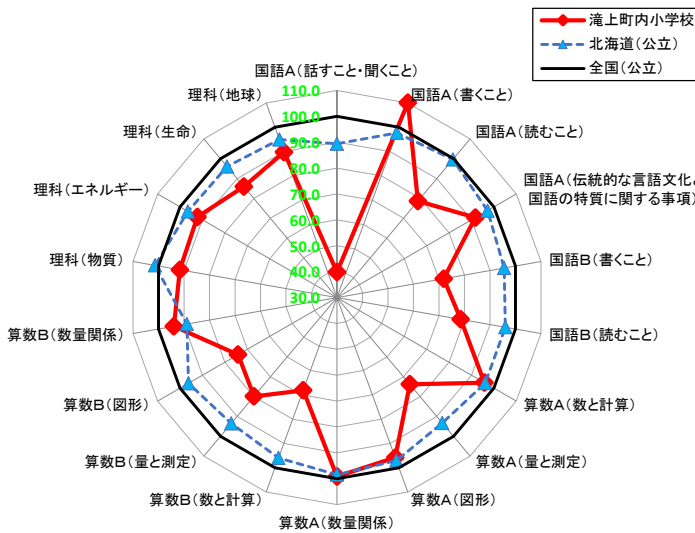


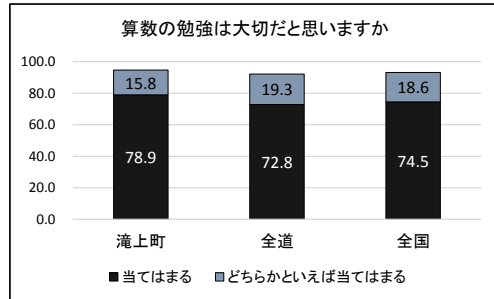
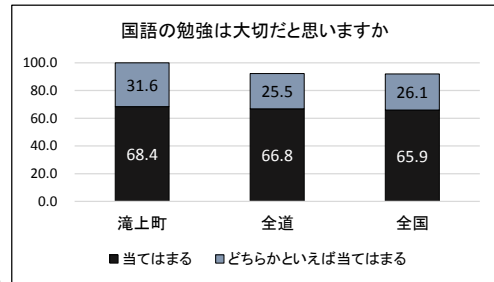
滝上町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2、児童数:19名)

【教科全体の状況】

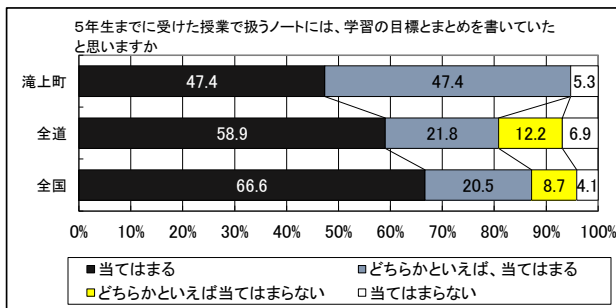
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



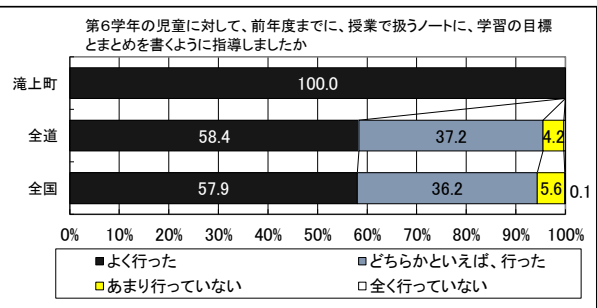
【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは「数と計算」「数量関係」で全国とほぼ同様になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校において、教員がノート指導の在り方について共通理解を図り、授業では構造的な板書に努めるとともに、目標とまとめを位置付けた授業を行うことによって学習内容を振り返り、勉強が大切であると意識している児童が多いことにつながっているものと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数や国語の勉強は大切だと思いますか」の質問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答している児童の割合が全国を上回っている。 ○ 「ノートに学習の目標とまとめを書いていたと思いますか」の質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合が全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業で扱うノートに学習の目標とまとめを書くように指導しましたか」の質問に、全ての学校で「よく行った」と回答している。 	

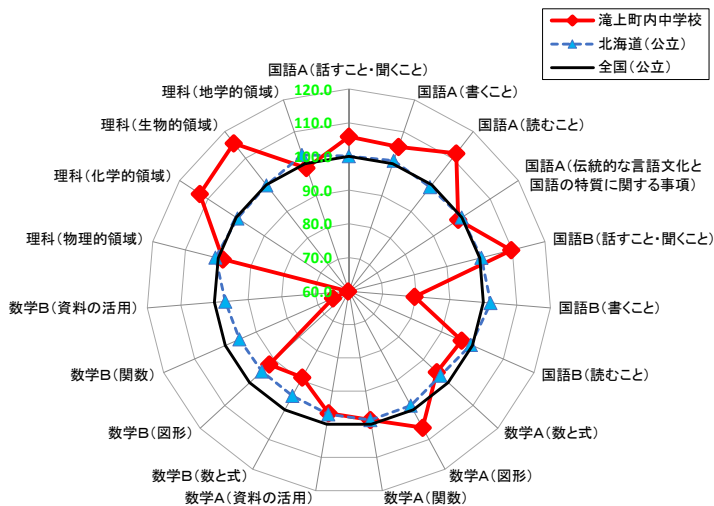
【滝上町の学力向上策】

- ◎ 長期休業中の学習サポートやほっかいどうチャレンジテストの効果的な活用
- ◎ 学校図書室の蔵書について、3年計画による整備と町図書館と連携した図書配本の実施
- ◎ 町費負担により「標準学力検査」を実施し、結果を分析・活用した学習指導の充実
- ◎ 特別支援教育支援員の配置と教育支援委員会の機能充実

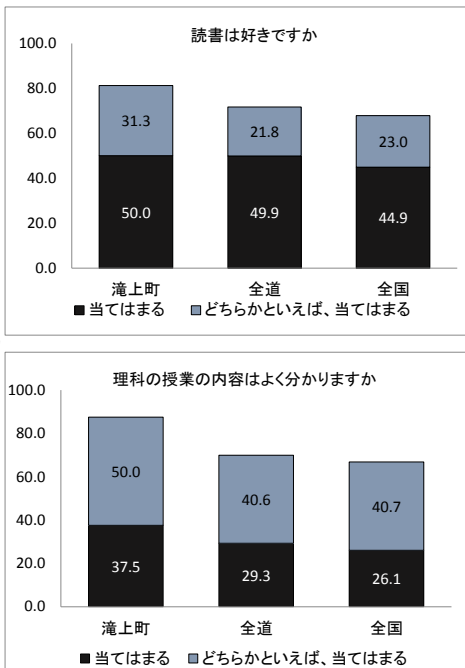
滝上町内中学校の状況及び学力向上策 (学校数:1、生徒数:16名)

【教科全体の状況】

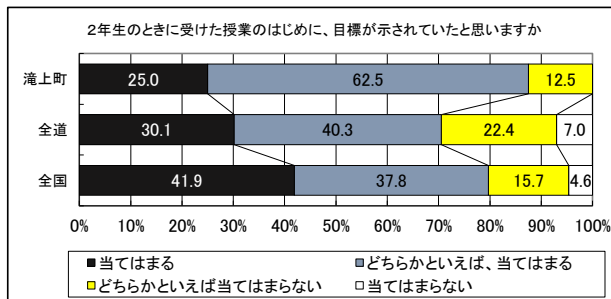
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



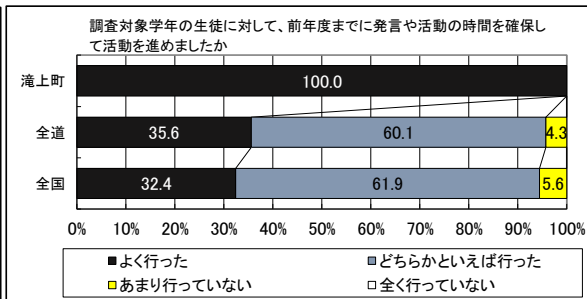
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、Aの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」、Bの「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学では、Aの「図形」で全国を上回っている。理科では、「化学的領域」「生物的領域」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業のはじめに生徒に目標をしっかりと確認させ、全ての教科で生徒が自分の考えを発表する機会を意図的に位置付けることで、内容がよく分かるという生徒が増え、学力向上が図られたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「読書は好きですか」「理科の授業の内容はよく分かりますか」の設問に「当てはまる」と回答している生徒の割合が全国を上回っている。 ○ 「授業のはじめに、目標が示されていたと思いますか」の質問で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が全国を上回っている。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか」の質問に「よく行った」と回答した学校の割合が全国を上回っている。 	

【滝上町の学力向上策】

- ◎ 長期休業中の学習サポートやほっかいどうチャレンジテストの効果的な活用
- ◎ 学校図書室の蔵書について、3カ年計画による整備と町図書館と連携した図書配本の実施
- ◎ 町費負担により「標準学力検査」を実施し、結果を分析・活用した学習指導の充実
- ◎ 特別支援教育支援員の配置と教育支援委員会の機能充実